

東北医科薬科大学医学部の修学資金枠等について

平成28年に医学部を開設した東北医科薬科大学は、令和4年3月に初めて医学部の卒業生を送り出すこととなり、修学資金貸与者を中心に本県を勤務先を選択する学生が出てくることが見込まれる。同大の入学枠は、下表のとおり修学資金枠及び一般枠に分類される。

○東北医科薬科大学医学部医学科入学枠及び修学資金の概要

区分		志願できる者	定員	返還免除条件	貸与額	原資
修学資金枠	A方式 (宮城県)	全国	30	宮城県内の医療機関（賛助会員病院*）に10年間勤務すること（臨床研修期間を含まない）	3,000万円	宮城県拠出
	A方式 (東北5県)	全国	5（各県1）	宮城県以外の東北5県の医療機関（賛助会員病院*）に10年間勤務すること（臨床研修期間を含まない）	3,000万円	大学拠出
	B方式	全国	20	宮城県以外の東北5県の医療機関に9年程度（各県の修学資金の義務年限による）勤務すること（臨床研修期間を含む）	1,500万円＋各県の修学資金	大学拠出＋各県の既存の修学資金制度
一般枠		全国	45	-	-	-
合計			100			

\*賛助会員病院

A方式貸与医師は臨床研修終了後、宮城県は宮城県知事、東北5県は東北医科薬科大学理事長が当該県の意見を勘案のうえ指定する賛助会員病院に勤務する。賛助会員病院は、勤務する同大A方式卒医師1名につき年間300万円の特別会費を10年間負担し、この会費がA方式の原資となる。なお、賛助会員病院は同大と医療機関とが個別に協議し決定される。

○東北医科薬科大学における本県の修学資金枠学生の状況

学年	A方式	B方式
6年（R4.3卒）	1	1
5年（R5.3卒）	1	
4年（R6.3卒）	1	1
3年（R7.3卒）	1	
2年（R8.3卒）	1	
1年（R9.3卒）	1	

【A方式】医師臨床研修修了後、賛助会員病院に10年間勤務

【B方式】卒業後（医師免許取得後）青森県内の医療機関に9年間勤務

## 【参考】東北医科薬科大学と県の関わり

### 1 教育運営協議会

同大医学部は、教育運営や各地域のニーズを踏まえた人材育成等について協議する場として、

- ①東北各県の代表
- ②東北各県にある医学部を設置する大学の代表
- ③日本医師会及び東北各県の医師会の代表
- ④同大理事長及び教職員
- ⑤理事長が必要と認める者

からなる教育運営協議会を設置しており、本県からは弘前大学大学院医学研究科長、青森県医師会長、青森県健康福祉部長が委員に就任している。  
(平成26年設置、これまで11回開催)

### 2 医学部講義「大学基礎論」

同大医学部1年次に対し、青森県の概要、医療政策等について医療薬務課職員が講義している。(平成28年度以降毎年4月頃)

### 3 東北医科薬科大学医学部修学資金枠に関する説明会

医学部修学資金枠と医師臨床研修、専門研修等との関係性等について理解を深めることを目的に、医師臨床研修病院及び専門研修プログラム基幹施設を対象としたオンライン説明会を開催した。(令和3年7月9日開催)

### 4 進路相談会

本県に関係する同大医学生を対象に、平成28年度から進路相談会を実施している。(直近では令和3年3月23日オンライン開催、6名が参加)